



抗議文

2019年5月28日

駐日アメリカ合衆国大使館
特命全権大使
ウィリアム・F・ハガティ 閣下

高槻市長 濱田 剛史



このたび、貴国が本年2月13日に臨界前核実験を実施していたという情報に接し、強い憤りと深い悲しみを感じています。

昨年10月にも貴国の臨界前核実験に対する抗議文を送付し、強く抗議したにも関わらず、再び核実験を行ったことは、「核兵器のない世界」を目指す国際情勢の流れへの逆行であるとともに、核兵器廃絶と恒久平和を願う世界の人々の期待を裏切るものであり、断じて容認できません。

本市は、世界の恒久平和を希求し、地球上から核兵器が廃絶することを願う非核平和宣言都市として、また、日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議の一員として、貴国の核実験の実施に対して再度厳重に抗議するとともに、貴国が、今後、計画されている核実験をすべて中止し、核兵器廃絶に向けた主導的役割を果たすよう強く求めます。

貴職におかれては、上記の抗議内容について、即刻本国に伝達されるよう依頼いたします。